

■ドイツ：大口の電気料金2025年までに70%上昇を予測

2012年5月15日付報道によると、ドイツの大口の電気料金は2025年までに現行比で70%上昇するとの調査結果が発表された。これはドイツのバーデン・ヴュルテンベルク州の商工会議所の委託を受けて、同州のカールスルーエ大学（KIT）が調査したもので、再生可能エネルギーへの転換と脱原子力発電によるコスト増が原因としている。今回は大口電力顧客向けの電力料金のみを調査したもので、商工会議所のベルント・ベヒトルト会頭はこの結果について、「電気料金がこのように劇的に高くなるようであれば、ドイツ企業の競争力が落ちる」とし、懸念を示した。